

旅行は目的地でのイベントも楽しみですが、最近は多くの観光列車が登場して移動中も充実した体験ができるようになりました。そこまで豪華でなくても、普段利用しない車両に乗って、車窓からの景色を眺めるだけでも風情を感じられるのではないでしょうか。

さて、今月号は「鉄道車両を支える台車技術」と題して、普段は目にする事の少ない台車にスポットを当てて、曲線通過性能を向上する剛性可変軸箱支持装置や安全に停止するためのブレーキ空走時間の短縮手法などの研究成果をご紹介します。台車

は、走行安全性や乗り心地に直結する重要な部品であることから、これまでも多くの技術開発が行われてきました。鉄道総研では今後も社会の要望に応える研究開発を進めていきます。

来月号の特集は「新しい材料技術の鉄道への応用」です。鉄道構造物のひび割れ抑制を目的とした無機繊維補強コンクリートやポリウエア樹脂を用いた鉄道トンネルのはく落対策工、高温超電導技術を応用した超電導き電ケーブル線材などの技術開発を中心に、鉄道のさまざまな分野で用いられている材料に関する取り組みについて紹介します。どうぞご期待ください。(J. N.)